

－2013年「秋の全国交通安全運動」の取り組み－

おもいやりライト運動事務局、『夕暮れ時の視認性について』の実験を実施
交通事故数削減において**夕暮れ時の視認性向上に効果的な**
「ヘッドライト早期点灯」と、
「道路を共有する人々へ、目立つ服装と反射材の着用」を啓発

おもいやりライト運動事務局 <http://www.omoiyari-light.com/> (所在地:神奈川県横浜市中区)は、年間を通して、ヘッドライト早期点灯の啓発や、歩行者や自転車など道路を共有する人々に対し、サムシングイエローを身につけることを呼び掛けるなど、ユニークな取り組みや活動を通して交通安全への貢献を行っています。また公式WEBサイトでは『ヘッドライト早期点灯研究所』のページを立ち上げ、様々な調査データや、企業訪問の取材レポートなどを掲載しています。2013年「秋の全国交通安全運動」の取り組みとして、夕暮れ時に多発する死亡事故に着目し、『夕暮れ時の視認性について』の実験をおこないました。

◎ 秋の全国交通安全運動への取り組み

2013年9月21日(土)～30日(月)に実施される「秋の全国交通安全運動」では、少子化が進む昨今、通学中の児童の死傷する交通事故が発生することや、また、高齢者の死亡事故が全体の約半数を占めることより、この交通事故情勢に対処することを目指し、“子どもと高齢者の交通事故防止”を運動の基本としています。

秋口に日没時間が急激に早まることで夕暮れ時に交通事故が多発しています。おもいやりライト運動事務局では、ドライバーに対して「早めのヘッドライト点灯は恥ずかしくないアクションであり、歩行者へのおもいやりのある運転であること」を広く呼びかけていくこと、そして道路を共有する歩行者や自転車に対しては「ドライバーに見えやすい服装や反射材を着用することの必要性」を伝え、交通事故削減を目指し取り組んでいきます。

◎ 『夕暮れ時の視認性について』の実験を実施

日没30分前、日没15分前、そして日没時にて、「色の異なる服装で見え方がどう変化するか？」の実験を行いました。黒色、白色、黄色、反射材を付けた4名が、夕暮れ時から日没までの時間でどのように見え方が変化するのか、15分間隔で撮影したところ、下記の写真(④～⑥)で見られるように、時間差で背景に溶け込んで見えなくなってしまう服装と、暗い中でも見えやすい服装とがあることが分かりました。日が暮れていくと黒色は見えなくなりますが、白色と黄色は、他の色よりも明るく見えています。ヘッドライト点灯時(①～③)には、反射材ははっきりと存在を認識できますが、白色と黄色も見えやすい服装である事が分かります。

おもいやりライト運動事務局は、クルマを運転するドライバーにヘッドライトを早めに点灯すること、歩行者は白や黄色の服装に加えて反射材を身に付けることが夕暮れ時の視認性向上に効果的であるとし、「見やすさ」と「見られやすさ」を高める工夫として、今後も積極的な啓発活動を行っていきます。



◎ 交通事故の多発する、「夕暮れ時」とはどんな時間帯？

秋口は日没時間が急激に早まる事で、夕暮れ時は交通事故が多発しています。おもいやりライト運動事務局は、この「夕暮れ時」とはどのような時間なのか、人間の視覚状況と行動状況について探りました。

★ 視覚状況について

事務局では、夕暮れ時に多発する交通事故がなぜ多いのか、その発生要因の一つとして、「プルキニエ現象」に着目しています。プルキニエ現象とは、19世紀のチェコの生理学者、ヤン・エバンジェリスタ・プルキニエ博士が解明した、日が暮れて暗くなるにつれ青色が鮮やかに見えるのに対し、赤色がくすんで見えづらくなる現象を言います。明るい場所から暗い場所に移動すると、異なる目の視細胞の働きにより、視力や見え方が不安定になります。

★ 行動状況について

夕暮れ時とは、どのような行動をしているのでしょうか？下校する学生、夕飯に帰宅を急ぐ子供たち、夕飯の買い物や夕食準備に忙しい主婦の方、帰宅するビジネスマンなど、道路や駅などにはクルマや人々があふれています。また、一日働いて疲れている時間帯で夕日に寂しさやノスタルジアを感じたり、心理的に不安定になりやすい時間でもあります。

上記の通り、様々な状況がこの夕暮れ時には存在しており、
更に、いつもより集中力の低い、注意力散漫なドライバーが運転をしていることも考えられます。
この時こそが、「黄昏時」・「逢魔ヶ時」と呼ばれる時間帯なのです。
おもいやりライト運動事務局は、このような不安定な時間帯に警鐘を鳴らし、
ドライバーにヘッドライト早期点灯を呼び掛けるほか、夕暮れ時に往来する歩行者や自転車に対し、
「見られやすい」服装や反射材をつけるなど、注意喚起を行っています。

◎ 11月6日(水)に『夕方安全創造会議』を開催

おもいやりライト運動事務局は、11月6日(水)15時より、日産自動車グローバル本社にて、『夕方安全創造会議』を開催します。この会議では、全国より参加者を募り、「夕暮れ時」における人間の視覚反応の変化のほか、ヘッドライト技術の変遷やリフレクター(反射材)業界の最新事情などを、ユニークな演出で展開していきます。また、参加者全員が「夕暮れ時のヘッドライト点灯タイミングの分かりやすい目安とは」など、夕方の事故防止、安全創造について対話し、アイデアを出し合うワークショップも同時開催します。

◎ 11月10日(日)は『11.10(いい点灯)大作戦』!

ヘッドライト点灯呼びかけアクションを実施する方を全国より募集、全国一斉点灯アクションの実施を目指します!!

※『夕方安全創造会議』『11.10(いい点灯)大作戦』への詳細についてはWEBサイトをご参照ください!

<http://www.omoiyari-light.com/TOPICS/000116.html>

【おもいやりライト運動とは】

おもいやりライト運動事務局は、交通事故削減を目指し、ヘッドライト早期点灯の呼びかけや「見えやすさ・見られやすさ」を認識してもらうことを目的とした情報発信を、横浜から全国に向けて、年間を通じた活動として積極的に行っています。同事務局は、2010年秋より活動をスタートさせ、2013年7月末現在70社を超える企業・団体・個人の方々が賛同パートナーとして集っており、全国的に「おもいやりライト運動」の賛同の輪が広がっています。

※日産自動車株式会社は、ハローセーフティキャンペーンの一環として、市民と一緒に「おもいやりライト運動」に取り組む事で活動を推進しています。

● 上記に関するお問い合わせは下記までお寄せください ●

おもいやりライト運動事務局 広報担当: 榊原あすか

(231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通 4-24 創造空間万国橋 SOKO201)

Mobile: 090-9310-5459 TEL: 045-228-7681 / FAX: 045-662-8224 MAIL: a.sakakibara@sustainable.co.jp